

施策名	-7 試験研究、監視・観測等の充実、適正な技術の振興等
-----	-----------------------------

目標	環境研究及び環境技術開発を促進するための基盤整備を行うとともに、その振興を図る。				
指標	-	目標値	-	目標年度	-
参考指標	-				

下位目標 1	環境分野における競争的資金を拡充する。				
指標	競争的資金の 予算額	目標値	5,700百万円 (12年度の倍)	目標年度	平成17年度
参考指標	-				
関連事務事業名	試験研究及び監視・観測の充実、適正な技術の振興				

下位目標 2	独立行政法人国立環境研究所における中期目標を達成する。				
指標	独立行政法人 評価委員会の 業務実績の評 価	目標値	中期目標に 係る業務の 実績評価に おいてB評 価以上	目標年度	平成17年度
参考指標	-				
関連事務事業名	試験研究及び監視・観測の充実				

下位目標 3	ナノテクノロジーを活用した環境技術を開発する。				
指標	-	目標値	-	目標年度	平成19年度末
参考指標	-				
関連事務事業名	適正な技術の振興				

下位目標 4	環境技術の環境保全効果等を第三者が客観的に実証する手法・体制の確立を図る。				
指標	-	目標値	-	目標年度	平成19年度末
参考指標	-				
関連事務事業名	適正な技術の振興				

下位目標 5	IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第4次評価報告書における我が国の研究者による研究成果の引用貢献度を、同第3次評価報告書に比べ大幅に増加させる。				
指 標	引用貢献度	目標値	第3次報告書の1.5倍	目標年度	2007年
参考指標	引用文献数、研究成果論文掲載紙のインパクトファクター				
関連事務事業名	試験研究及び監視・観測の充実				

下位目標 6	衛星により、オゾン層及びオゾン層破壊物質、全球の温室効果ガスの監視・観測を実施する。				
指 標	観測精度	目標値	-	目標年度	2010年
参考指標	-				
関連事務事業名	試験研究及び監視・観測の充実				

下位目標 7	地球温暖化対策の基礎となる監視・観測の充実を図るため、航空機・船舶によるモニタリングシステムの構築を目指す。				
指 標	データ提供システムの構築	目標値	-	目標年度	-
参考指標	-				
関連事務事業名	試験研究及び監視・観測の充実				